

佐野れいじ 区議会レポート

平成22年・第一回定例議会総括質疑報告

佐野れいじが
区政改革を訴える!

平成22年4月発行

中野区の新年度(平成22年度)予算を審議する

第1回定例会(2/17~3/23)で、私(佐野れいじ)が一般質問に立ち(2/23)

①中野区の事業部制の限界について ②新規事業の高齢者居宅支援事業について、
区の見解を質しました。(詳細は2、3ページに掲載)



一般質問に立つ佐野れいじ(中野区議会議場・2月23日)

中野区の新年度予算は一般会計で約964億円。平成21年度に比べ、約63億円少なくなり1000億円の大台を割りました。その主な理由として、①経済状況の悪化により市町村民税法人分が約23億円減収 ②不景気による特別区民税の減収約26億円等が挙げられます。また、生活保護費など区として絶対に支払わなければならない、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)の歳出に占める割合は昨年53.8%で、23区の中で一番高い数値であったものが、今年はさらに58.1%と上がってしまいました。

このように硬直化した中野区の財政事情を基に、私は質問を行いました。

■一般会計当初予算21年度と22年度の比較

